



月一だより

中央区立 月島第一小学校

令和8年 2月 NO.507

実りの季節に、次の一歩を見つめて

校長 藤山 由仁

2月を迎え、校内には一年間の学びの積み重ねが静かに満ちているのを感じます。朝のあいさつの声、授業中のまなざし、友達と関わる中での何気ない一言。その一つ一つに、4月からの成長の跡が確かに表れています。私自身、子どもたちと日々言葉を交わす中で、「ああ、確実に前に進んでいるな」と感じ、胸があたたかくなる瞬間が何度もありました。

子どもたちは、この一年で多くの経験をしてきました。思うようにいかず立ち止まったこと、友達と気持ちがあわずに違ったこと、努力がすぐに結果として表れなかったこともあったでしょう。しかし、そうした経験こそが、子どもたちに考える力や粘り強さ、他者を思いやる心を育ててきました。目に見える成果だけでなく、その過程にこそ大切な学びがあると、日々の学校生活から教えられています。

また、行事や日常の学習を通して、仲間と力を合わせる姿や、自分の役割を果たそうとする姿も多く見られるようになりました。一人ではできないことも、仲間とともに取り組むことで乗り越えていく。その姿に、私たち大人が励まされる場面も少なくありません。

私たち教職員もまた、子どもたちの姿に背中を押されながら、よりよい教育活動とは何かを考え続けてきた一年でした。保護者・地域の皆様の温かな支えがあってこそ、子どもたちは安心して学校生活を送ることができています。日頃の御理解と御協力に、心より感謝申し上げます。

残りわずかな今年度の日々を大切にしながら、一人一人が自分の成長を実感し、次の学年、次のステージへと希望をもって進んでいけるよう、教職員一同、そして私自身も、丁寧に子どもたちと向き合っています。今後ともよろしくお願いいたします。

保健室より

養護教諭

本校では、「生涯にわたり健康的な生活ができるように、健康に関心をもち、主体的に実践できる子どもを育てる」ことを学校保健目標としています。

保健室では、毎学期の発育測定前にミニ保健指導を行っています。3学期は、1～4年生には「冬も元気にすごすためのコツ」を、5年生には「脊柱側弯検査とは何か」、6年生には「自分の身体を大切にするためにできること」というテーマで話をします。発達段階や日々の観察をもとに、子どもたちに必要な健康情報を伝えています。心も体も健康に過ごすための方法を主体的に考え、行動し、自分のことと共に他の人のことも大切にできるような児童を育成していきたいです。

他にも、保健室では毎月季節に合わせた掲示物を廊下に飾っています。掲示物は楽しみながら学べるように工夫して作成しています。保健室の前を通りかかったときに見たり、チャレンジしたりしてくれる子どもも多いです。

これからも保健室を子どもたちが安心して過ごせる場所にしていきたいと思っています。御家庭でも健康面で気になる様子がありましたらいつでも御連絡ください。

6年生を送る会について

特別活動部

2月24日(火)の3・4校時に「6年生を送る会」を行います。これまで委員会やクラブ活動、たてわり班活動の計画・活動の進行役など、様々な場面で6年生が全校のためにたくさんの役割を果たしてくれました。また、6年生の役割は、表には見えないものも沢山あります。毎日の旗揚げや、各行事の準備など多くの場面で6年生が学校を支えてくれていました。

そんな学校の中心として活躍してくれた6年生のために、これまでの『感謝の気持ち』を込めて、各学年が出し物を発表します。6年生に対してそれぞれのありがとうの気持ちを形に表して伝えます。どの学年も6年生に喜んでもらうためにはどうするか内容を考えて準備を進めています。

もうすぐ卒業を迎える6年生と楽しく過ごせる最後の行事です。1年生から5年生にとってもとても大切な時間です。心温まる時間になるように、みんなで協力していきたいと思っています。

